

多摩市史関係所在文書目録 1

多摩市教育委員会編

東京 多摩市発行 1990. 3

215 P 26cm

本目録は、多摩市史編さん事業の一環として作成され、市内の五家の文書群を収集している。

目録作成者によれば、本目録の編集意図は次のようなところにあったとされる(12~13ページ)。(1)項目分類について。目録作成者は「文書の分類作業は何よりもまず、文書作成主体の社会的立場に即した整理が行われなければならない、それを無視しては伝来文書群の正確な把握は不可能になってしまう」という認識に立って、「本目録の分類項目は、それぞれ文書作成者の役職や役割によって設定されており、各家ごとにそれぞれの文書の作成・保存意図を理解しやすいようにしている」と述べている。(2)文書の伝存形態については、「本目録では、文書の伝存形態を破壊することのないように、たとえば文書がいくつかの群に分かれていた場合には、それを枝番などで処理するようにし、伝来されてきたまとまりを破壊することのないよう、出来得る限り現状の維持・保存に努めた。」とされている。

以上の編集意図の下における具体的な記載様式をみると、(1)「備考」欄を広くとってできるだけ多くの情報提供に努めている、(2)冊子型史料については綴じ方も記すなど形態表記が詳細であり、近代文書の形態表記にも独自の工夫がみられる、(3)年代は干支も含めて表記し、作成者の捺印のあるものはその旨記されている、等の特徴をあげることができる。